

議会だより

第6回 町議会出现報告会
多数のご参加を頂き、
ありがとうございました。

5月に開催致しました町議会出现報告会は、町内4箇所において200人近い過去最大の参加を得、67件もの質問・意見・要望・批判を頂きました。(P16～17)

高浜会場



■ 瑞祥苑 5月13日(火)

内浦会場



■ 内浦公民館 5月13日(火)

青郷会場



■ 青郷公民館 5月14日(水)

和田会場



■ 保健福祉センター 5月14日(水)

北海道泊発電所の安全対策の対応状況を視察研修



北の大地の生命線を守れ
安全に万全を期して電源確保



北海道積丹半島の付け根泊村にある北海道電力の泊発電所は海拔10mの敷地に加圧水型軽水炉が3機あり1号機(平成元年6月)2号機(平成3年4月)3号機は平成21年12月の営業運転開始の国内最新の原子力発電所である。

PRセンター「とまりん館」にて、北海道の電力事情・状況と泊発電所の安全対策と取り組みなどの説明を受けた。例にもれず携帯電話・デジカメなど持ち込み禁止の厳重な検査を受けて構内に入り、各施設の建屋外観を視察し高台の展望棟にて概要説明を受けて停止中の現在でも国外からの視察が多いと聞く3号機に入り視察した。

主要施設が雪害対策もあって全て建屋の中にある、広い敷地の中整然としている。安全対策は、高浜発電所と同様に重大事故に向けたさらなる対応・対策を強化実施中で、敷地から6mの防潮堤を自主的に嵩上げし16mとしたり、41mの高台に重要免震棟の建設や最上の高台に高低差により供給できる貯水設備の設置、防火帯の設置などに取り組み工事中である。

1・2・3号機とも同列に並び、燃料取扱棟は同じ31mの高台にあって道路に繋がりを搬入・搬送が容易で燃料ピットも3号機は新しいこともあり十分な容量がある。



泊発電所は北海道の電力の約4割を担う重要な電源であり現在、火力発電所が点検を繰り返しながらフル稼働していたり緊急時には東北電力より融通電力している。また、安全対策の進捗状況なども高浜発電所と似かよった感じがした。

泊発電所の安全性・信頼性向上を目指す取り組み



北海道幌延深地層研究所視察



高浜町議会は、北海道天塩郡幌延町にある日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センターを視察した。

この幌延深地層研究センターは、原子力発電の使用済燃料を再処理した際に発生する高レベル放射性廃棄物を安全に処分するための地層処分技術に関する研究開発として、地層科学研究や地層処分研究開発等を行っている。この研究で得られる成果は岐阜県瑞浪市及び茨城県東海村で実施している研究の成果と合わせて、国が行う安全基準等の策定や実施主体が進める最終処分事業の基盤情報として活用されている。同センターは「安全の確保」「情報公開による透明性の確保」、「適正で効率的な業務推進」、「地元をはじめとした理解と信頼の獲得」の4つの基本方針に基づき進められている。



幌延深地層研究センター(展望塔から)

平成12年11月に北海道及び幌延町との間で「放射性廃棄物を持ち込まない、使用しない」などを約束した『幌延町における深地層の研究に関する協定』を締結し、研究期間中及び研究終了後においても、放射性廃棄物を持ち込まず、研究終了後は地上の研究施設を閉鎖し、地下施設を埋め戻す取り決めが明確にされていた。

調査研究の期間は約20年程度で①地上からの調査研究段階、②坑道掘削(地下施設建設)時の調査研究段階③地下施設での調査研究段階の3つの段階に分けて進められ、現在③の最終段階にさしかかっていた。地下3本の立坑を掘りそれぞれ140m、250m、350mに調査坑道が掘削されていた。当該地の地質は堆積岩で地層の特性、影響など深

層部は自然現象の影響を受けにくく酸素が殆どなく、鉄の腐食やガラスの溶融などが起こりにくい、地下水の動きが極めて遅いことを確認した。本年7月より、情報開示の観点から一般視察が可能となった。今回の視察で高レベル放射性廃棄物地層処分研究がここまで確立されていることを確認できたことは、立地町の一人として大きな成果であった。



高レベル放射性廃棄物地層処分の模型

キャニスター容器を粘土層で地下密閉する。地下は酸素がなく、厚さ19cmの鋼鉄で千年単位でもほとんど腐食変形のない設計のようである。



地下深地層 250m 付近

高レベル放射性廃棄物地層処分研究は
ここまで確立されている！





6月定例会では 以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (高浜町町税条例の一部を改正する条例について)	総務産業	賛成多数で承認	P5・11
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (高浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	厚生文教	賛成多数で承認	P5・13
議案第44号	平成26年度高浜町一般会計補正予算(第1号)について	予算決算	賛成多数で可決	P5・12
議案第45号	平成26年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	厚生文教	全員賛成で可決	なし
議案第46号	高浜町公共用施設維持基金条例の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P5・11
議案第47号	高浜町雨水対策事業汐入1号雨水調整池整備工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P11
議案第48号	高浜町文化会館及び高浜町中央図書館施設増築改修工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P5・13
議案第49号	中央体育施設擁壁改修工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第50号	清掃センター施設点検修繕工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P5・13
議案第51号	高浜町道路線の変更について	総務産業	賛成多数で可決	P5・11
請願第3号 (継続)	要支援者を介護予防給付から外すことに反対の意見書提出 についての請願	厚生文教	賛成少数で不採択	P5
請願第2号	「非核平和都市宣言」採択についての請願	総務産業	賛成少数で不採択	P5・11
請願第3号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出を求める請願	総務産業	賛成少数で不採択	P5・11
請願第4号	政府が福井地裁大飯原発3、4号機運転差し止め判決をふまえ、人格権を優位において原子力政策をおこなうことをもとめる意見書採択を求める請願	原子力対策	賛成少数で不採択	P5・15
陳情第13号 (継続)	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情	厚生文教	賛成少数で不採択	P5・13

●承認案件…2議案 ●条例案件…1議案 ●人事案件…1議案 ●議会発委…0議案
 ●予算案件…2議案 ●契約案件…4議案 ●その他の案件…1議案 合計11議案(2議案承認、8議案可決、1件推薦)

本会議での質疑・討論

質疑 議案第46号

渡辺 孝議員

基金を取り崩し積み替えるのは、国の許可が必要か。

総務課長

必要だが手続きを踏んで進めた
い。

質疑 議案第48号

小幡憲仁議員

中央図書館が増築改修されるが、オープン時期はいつになるか。また、ハード面の整備は完成するが、公共図書館はソフト面の充実も必要。

教育委員会事務局長

オープンは来年のゴールデンウィーク明けとなる。ソフト面の充実については、拡張されるスペースを利用した読み聞かせインベントなどを考えたい。

質疑 議案第50号

渡辺 孝議員

清掃センターの改修工事中は利用できるのか。

住民課長

基本的に利用できる。

討論 請願第3号(継続)

反対討論 山本 富夫 議員

要支援者を介護給付から外す方向だが、各自自治体の地域包括支援センターが受け皿として引継ぐ状況を見守りたい。

賛成討論 渡辺 孝 議員

介護保険で受けていたサービスが後退する。今まで通り実施すべき。

賛成討論 小幡 憲仁 議員

意見書提出に賛成。社会保障の充実を眼目に消費税増税しながらやっていることが逆。要支援者を介護保険から外すという大きな変更にも関わらず町民には理解が進んでいない。高浜町議会として政府の制度改革に反対意見を述べるべき。

討論 請願第2号

賛成討論 渡辺 孝 議員

日本の運動団体も力を込めてい

討論 請願第3号

賛成討論 渡辺 孝 議員

原爆は人類への犯罪である。核兵器と人類は共存できない。

討論 請願第4号

反対討論 山本 富夫 議員

現在、原発再稼働に向けて世界最高水準の安全対策が構築される中での福井地裁の運転指止め判決だが、司法の最終判断がなされるまで推移を見守りたい。

反対討論 栗野 明雄 議員

この裁判は係争中であり、ノリスクを求めている。交通事故はどうなるなど、すべてのインフラが成り立たないので反対とする。

賛成討論 渡辺 孝 議員

自動車は安全運転に心がければ、事故は起きない。原発は危険なものである。

討論 陳情第13号

賛成討論 渡辺 孝 議員

利用者負担を増やさないこと。

介護保険財政に国が責任を持つことを要望し、全面的に賛成とする。

討論 承認第3号

反対討論 渡辺 孝 議員

消費増税に加え、二重の負担の押しつけであり、反対とする。

討論 承認第4号

反対討論 渡辺 孝 議員

課税限度額は、77万円から81万円になる。反対とする。

討論 議案第44号

賛成討論 小幡 憲仁 議員

和田公民館は保健福祉センターの利用によって建替不要との意見が出た。保健福祉センターは高浜町の保健・医療・福祉充実のための施設であり理解に苦しむ。建替計画の必要性を強調しておきたい。

討論 議案第51号

反対討論 渡辺 孝 議員

道路整備はまっすぐに通すことを基本とするものである。今回は逆である。反対とする。



若者定住対策は

答弁 若者を選ばれる町をオール高浜で

磯部 武史 議員

【磯部】

新聞報道では2040年の人口が、現在から36・5%減少し約7000人と予測されている。特に20～39才の女性については、62・1%減少し約400人になるという。

近隣市町と比較しても、若い女性の減少率は群を抜いている。

この試算についてどう分析しているのか。危機感を持った対策が必要ではないか。

【町長】

充実した子育て支援など生活のサポート体制の構築や、空き家バンクによる住宅供給体制、さらには婚活事業も重要だと考えている。子育て、教育、就業面を含めた各種施策に、コミュニティが作り出す魅力を組み合わせ、若者を選ばれる町づくりを「オール高浜体制」で進めていく。

◆城山再整備の方向性について

【磯部】

城山荘の持つコンベンション機能や宿泊機能は、町にとって不可欠だと思う。財源の問題も含めどういう方向性で計画していくのか。

高浜八穴など自然が作り上げた素晴らしい景観がある。看板や歌碑などで紹介されているが、遊歩道には危険な個所があり手すりなど整備が必要では。

アプローチ改善で道路の付け替えが計画されているが、桜の木はどうなるのか。

【まちづくり課長】

城山荘は経営状況とニーズの把握に努め判断していく。

県内でも有数の奇勝景観であり、歴史的背景と美しい借景を活かした整備を進めたい。

既存樹木の樹齢や病気被害の状況を確認しつつ、存続・移植など最適な公園計画を進める。



地域社会をとりまく状況は

答弁 オール高浜体制で

勝本 繁昭 議員

【勝本】

地域社会をとりまく状況についてであります。新聞報道では2040年には、高浜町の総人口は7000人で20歳から39歳までの女性が400人ぐらいになると報じられているが、何か取組みを考えているのか。

【まちづくり課長】

今後、ますます都市間競争が激しくなっていく中、隣接する舞鶴市、おおい町、小浜市と比較して子育て、教育、そして就業面を含めた各種施策をもって、魅力ある若者を選ばれる町づくりを「オール高浜体制」で進め、子供たちが安心して成長でき、また高浜へ帰ってきたいと思える「若者が夢を描ける高浜」を創っていききたい。

◆防災行政無線設置場所について

【勝本】

防災行政無線設置場所は、音声は地区内に聞こえるが緊急通報の操作には、体力がともなう。本当

の防災設備としての機能は果たせないが、どのように考えるのか。

【防災安全課長】

設置場所については、区内全域に音声が行き渡るように調査（いわゆる音達調査）を行い場所選定をしており、柱を建てる位置については、区および近隣住民の了解のもと設置をした。

◆国道に街路灯の設置を

【勝本】

国道で高齢者の交通事故が多くある。歩道をLED照明、町有灯として、電力会社柱に設置する考えはないか。

【防災安全課長】

町としては、交通安全の観点から照明が必要な場所はもちろんであるが、防犯上の観点から必要に応じて町有灯を整備している。必要と思う場所があれば、相談を受ける。



地域医療の充実は

答弁 病院側と協議

廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】

社会保険高浜病院はこの4月に機構改革により「独立行政法人地域医療機能推進機構（ジェイコー）若狭高浜病院」である。嶺南地方では、医師不足や看護師不足のため病棟閉鎖や休床する施設も少なくない。若狭高浜病院では、5月1日より看護師不足のため（土曜日及び日曜日 午後5時～翌8時30分まで）救急搬送患者を含むすべての外来診療が中止である。町民からは不安の声も出ているが、町として今の実態をどう考えているか問う。

【保健課長】

全国的な課題であり、特に地方では深刻な問題である。若狭高浜病院は救急病院の認定取り消しとなり、平日の終日および土・日の昼間は救急車の受け入れに關しては現状のままである。理由は看護師不足で病院側と協議を行っていない。又、医師不足は少しずつ解消の兆しを見せているが看護不足が大きな問題で、今後は、中長期的

な看護師の確保に向けた取り組みを検討する。まず若狭高浜病院の救急体制の確保に向けて、病院側と十分な協議を重ねて行く。

◆人材育成について

【廣瀬】

若狭高浜病院では奨学金制度を取り入れているが、現実には看護師不足である。今後の大きな課題は人材育成（看護師）である。看護学校卒業後高浜町の医療関係に定着する方法を考えるために、資金援助する方法を取り入れられないか問う。

【保健課長】

現在は奨学金利用者が少ない理由は、制度の周知不足が考えられ、今後病院側と協議をし、住民への周知を検討していきたいと考える。奨学金制度については、病院側と町との同時貸与は難しい、病院側の制度で対応したいと考える。



安土山展望台の眺望確保と周辺整備を望む

答弁

早期に展望台やその周辺の樹木伐採等の整備を進めたい

大塚 ひとみ 議員

【大塚】

以前は我が家も民宿をしており、お客様を案内して安土山展望台で記念写真を撮っていた。桜の季節には家族や仲間たちと花見をしているが、近年は樹木によって展望台からの眺望が遮られている。安土山は私たちにとって、誇りを持って一人でも多くの方に見てもらいたい自慢出来る所だったはずが、三箇所ある展望台からは以前のような景色を望むべくもない。舞若道が開通し、和田地区は福井国体のメイン会場となりこれから大いに注目される。「安土山から見る青葉山」は高浜町の絶景であり、この素晴らしい景観を保全するため、町一丸となって取り組んでいただきたいが、次の4点について問う。

- ① 樹木の伐採が必要
- ② 第一展望台に駐車場を
- ③ 誘導、案内看板の充実を
- ④ 今後の公園全体の整備は

【まちづくり課長】

① 安土山は、福井ふるさと百景の一つで高浜を代表する景勝地であり、舞若道の全線開通、福井国体へ向けた受け入れ体制整備を考えていく上で重要な場所である。展望台や周辺の樹木伐採等の整備を進めていきたい。

② 駐車場は厳しいが、案内表示とアプローチ部分の改善でアクセスしやすいように植栽を整理する。

③ 安土山からやすらぎ公園までの誘導看板も不足しており、樹木伐採と併せて整備していきたい。

④ 公園全体の整備は老朽化の激しい施設や樹木の伐採等、部分的にリニューアルを進めていきたい。やすらぎ公園まで含めると広いエリアが公園として利用されており、維持管理については、和田地区と協働した公園活用と管理の仕組みを考えていきたい。



産業団地の進行状況は

答弁 テンポ良くしていきたい

栗野 明雄 議員

【栗野】

25年度から、3年計画で企業誘致につなげていくことであったが、現状はどのような進行状況か。これまでは、新しい雇用の創出に貪欲さが欠けていたように感じる。

【副町長】

25年度末の現状は、高速IC沿線の現地確認と課題及び企業誘致戦略について、意見交換を行った。テンポの速さが必要なことは十分承知している。

◆オオキンケイギクの駆除を願う

【栗野】

この花は、外来種であり繁殖力が強い。その上きれいな花を咲かせている。駆除が必要であるが広報・駆除対策はとれないか。

【まちづくり課長】

特定外来種であり、在来種に与える悪影響を懸念している。職員のボランティアによる駆除も計画している。広報も行いたい。



オオキンケイギク

◆観光戦略を尋ねる

【栗野】

これまで高浜町は、海の町として歩んできた。海水浴の将来をどのように考えるか。それ以外では、合宿型観光。高浜町の特徴を生かした、健康ツアーなどはどうか。登山・ウォーキング・薬膳料理・健康チャレンジプランなどトータルで考えることが必要である。

【まちづくり課長】

高浜町の海水浴客は20万人で底を打ったと見ている。スポーツと健康を軸とした観光産業では調査研究を進めたい。総合的視点から、誘客につなげていきたい。



南山手線(南区)町有地の車両通行を可能に出来ないか

答弁 道路計画を模索してまいりたい

山本 富夫 議員

【山本】

青葉山麓研究所が設立し平成26年度予算6月補正予算において総額3019万2千円が計上された。青葉山麓政策は、町民の期待もあるが恒久的な取り組み姿勢の考えであるのかについて。

【まちづくり課長】

青葉山麓の貴重な植物、300種類以上の有用植物など、高浜町にとってかけがえのない財産であるが、希少植物の盗掘やシカ害など、環境保全の対応が遅れており保全投資を継続して実施する。

薬草を活かした産業振興については、青葉山麓を舞台に活動いただく実動者(プレーヤー)を育て、それを活かし形にしていくな・組織が必要なので注視しながら進めて行きたい。

【山本】

高浜町は低炭素社会の実現、CO₂削減にむけて、バイオマス発電を計画中であるが、場所、採算性、

事業性に問題はないのか。

【町長】

発電規模は5000kWh、9割を賄う主燃料として「海外からの輸入パーム椰子柄(PKS)」を利用したハイブリッド形式である。採算性、事業性の課題については、今年度1年かけ、他の課題も含め、一つ一つ課題をつぶし、その結果を考察した中で事業化実現が可能か否かの判断を行いたい。

【山本】

南山手線佐治神社踏切から西側町有地の車両通行を可能にする施策を今一度実施できないか。安全面を考慮して一方通行も提案して住民の理解が得られないか。

【建設整備課長】

生活道路として、一方通行も視野に入れ、工法の検討や安全対策、また、幅の狭い佐治神社前踏切、湯谷入口踏切の拡幅もふまえ、地域住民の方々のご理解を得られる道路計画を模索してまいりたい。



五色山公園の今後の運営は

答弁 まず計画づくりを行う

井ノ元 康夫 議員

【井ノ元】

五色山公園にはヒロセオートキャンプ場、美術館、春には植樹してある桜の花見などで、町内外の方が公園を利用されている。しかし来場者は少ないと考える。今後の運営と次の3つの提案に対して回答を求める。

- ① 五色山公園には桜が多く植樹してあるが、記念行事に植樹するなど公募して広範囲に桜などを植えて五色の山にしてはどうか。
- ② 美術館に來られても、案内看板が見えにくく迷われる。休憩する日かげやベンチが設備してない。幅広い広報をして頂きたい。
- ③ 公園近くに新たなルートで計画されている、町道柿ケ渡線から公園が見える休憩所の設置を計画出来ないか。

【まじひら課長】

内浦湾にある海と山に囲まれた五色山公園は環境保全を考えつつ町の公園として重要な場所である事は理解しているが、桜の枯れ木

などが目立つようになってきており、今後の管理体制については

- ① 多くの方に愛される公園の計画作りから管理体制まで内浦地区の皆さんのご意見をお聞きし、よりよい管理に努めて行く。
- ② 今年度より広報の為のホームページで管理人によるブログを計画している。またポスター、チラシの製作を予定している。また案内看板、誘導看板の充実や、ベンチなど、もてなしの向上を図る事を検討していく。
- ③ 新たに計画される柿ケ渡線は、急こう配で、立木などが多く山間部を通行するルートであり、計画中のルートからは五色山公園の絶景ポイントは望めない。しかし今後柿ケ渡線の詳細設計が進んで行く上で、入念な踏査を行い景観ポイントとなる近隣の高台や半島から五色山や内浦湾が眺望できるスポットなど適地の調査を行う。



子どもの貧困問題に対する取り組みが必要

答弁 子どもの貧困対策推進法に基づき取り組み策を検討

小幡 憲仁 議員

【小幡】

我国は、子ども6人に1人が貧困という先進国で最悪レベルにある。このため国も子どもの貧困対策法を立法し対策に乗り出した。高浜町も国・県と連携して子どもの貧困対策に取り組む必要がある。

【保健課長】

これまでも様々な貧困対策を実施している。今回、国で貧困に対する基本方針を策定し、教育・生活・保護者の就労支援などが策定される。今後、県とも連携しながら町としての取り組み策を検討する。

◆木質バイオマス発電について

【小幡】

高浜町における木質バイオマス発電事業の検討概要を問う。

【町長】

木質バイオマス発電は燃料の木材確保が課題である。採算が取れる規模の発電プラントの場合、嶺南地域で確保できる木材では全く足りず、海外からパーム椰子殻の

輸入が必要となる。これの安定輸入が出来るかを検証している。一方で、一定の赤字前提で嶺南地域の木材だけで発電できる規模の事業化についても検討している。

◆デザインナンバープレートの導入について

【小幡】

市町村が発行する原付バイクのデザインナンバープレートを交付している自治体が増えている。高浜町でも導入してはどうか。

【副町長】

観光や地域振興策の一環として貴重な意見。前向きに検討したい。



小説「坂の上の雲」をイメージした松山市のナンバープレート



「福井地裁判決」の見解は

答弁 判決に対する言及は控える

渡辺 孝議員

【渡辺】 福井地方裁判所は、関西電力大飯3・4号機の運転再開を認めない判決を言い渡した。町長の見解を求める。

【町長】

関西電力は控訴しており、判決が確定したわけではない。判決に対する言及は控える。

◆商店版リフォーム制度の創設について

【渡辺】

群馬県高崎市では、「まちなか商店リニューアル助成事業」を実施している。市内の商店経営者が店舗などを改善、改装する費用と店舗でもっぱら使用する備品の購入費の一部(2分の1)を市が助成するというものである。条件は工事業者は地元業者、備品購入先は市内の業者に限っている。ぜひ参考にされたい。

【建設整備課長】

現在、当町でも従来からの住宅

リフォーム制度と合わせ、「店舗リフォーム支援事業」を検討している。補助限度額も住宅リフォーム制度よりも拡充する方向。提案の備品購入を対象とすることは検討を要する。

◆消防団員の報酬値上げを

【渡辺】

東日本大震災以後、消防団員の活動が見直されている。ところがその報酬額は依然として低く抑えられている。政府も積極的に値上げするよう自治体に通知している。値上げすべきではないか。

【防災安全課長】

指摘されている、地方交付税の算定額(3万6500円)より。若狭消防組合消防団員の報酬額(1万7千円)が低いとのことだが、国の基準とする消防団員数は本町よりも少なく、実際には報酬総額は町の持ち出しとなっている。



人材育成事業の継続はされるか

答弁 現制度は中止の方向だが目的も含めて見直し検討する

上尾 徳郎議員

【上尾】

昨年度から継続の人材育成事業だが利用状況と傾向は。資格取得申請の対象者は町内外か。

【政策推進室長】

町の産業基盤強化を図る目的で、技術力向上による人材育成により町内事業所の経営基盤強化の事業である。申請実績は建設業関連が多いが、幅広い事業所の利用を広報したい。

町の内外問わず町内事業所の従業員を対象としているが、一定の条件付けなど検討する。

◆看護・介護士等養成制度と福祉交流施設建設について

【上尾】

医療・福祉関係の資格者の養成制度を設けて、「福祉交流施設」建設に早期に取り掛かれないか。

【副町長】

高浜病院には看護師奨学制度があり協議・協力していく。介護職員初任者研修を過去4回(54名)実

施。現在、町内の研修事業所で実施されているが資格取得・人材定着に向けた支援策を検討する。

福祉交流施設は広域も視野に入れた福祉機能を運営母体や関係者間で共通認識のもと、整備計画し行政の余力も含め現実的に進める。

◆大型公共事業について

【上尾】

計画推進順位と建設工事監理体制の強化は。

【副町長】

社会教育関連の施設事業への原資力関連交付金の用途がたち、文化会館・図書館の改修・増築工事の着工。中央体育館改築と和田公民館改築の事業計画を推進するが状況によっては変更もありうる。

工事監理体制は計画的な技術職員の採用や昨年度より1名の専門職員派遣を外部委託するなど、継続する事業量に合せた職員採用や人員配置により対応する。

総務産業常任委員会

委員長 栗野 明雄

◇6月10日午前9時より

役場3階会議室

委員6名出席 西出議員が欠席

●承認第3号

法人住民税法人税割の税率の引き下げ・軽自動車税の税率の引き上げなどである。軽自動車税の引き上げには不満である。

●議案第46号

原状に復旧しか許されていないかったので、2億4000万円取り崩し、整備基金に入れるものである。

●議案第47号

単価設定と水の流れ・構造は。

プレキャスト工法により、現場打ちコンクリートは少ないとの答弁を得た。通学路があるので学童への安全への配慮を求めた。

●議案第51号

信号機の設置について。

公安委員会と検討する。汐入川沿いの桜は、間隔が狭く、8本がダメであるが、樹木医と相談の上

進める。

●請願第2号

過去4回不採択で、これと言った意見はなかった。

●請願第3号

請願団体の純粋性への疑念が示された。

●報告第4号

「いきいきタウン高浜」の経営状況について。

高浜ずしについて、町内では不評である。各家の味があり、レトルト化は無理である。西の鯖街道は、今年から事務局が美山町から高浜町に変わったので、いっそうの努力を誓う。トマト栽培は、3年間は支援していく。



現場視察 高浜道の駅で現状説明

総務産業常任委員会視察報告

◎バイオマス発電(岡山県真庭市)

◇5月21日(水)・22日(木)

岡山県真庭市へバイオマス発電。岡山県日生漁協へ漁業の6次産業化の視察を行った。

真庭市は、木材関連産業が多くあり、中心になっているのは、集成材の製造工場で、材料を北欧から大量に仕入れ、製造過程で大量に発生するかんなくずで発電し、自社工場の電気の一部をまかなっている。広い山林面積を抱える真庭市でも、バイオマス発電の計画があるが、よく聞いてみると、高値買い取り制



集成材工場・輸入材

◎日生漁協(岡山県備前市)



日生漁協の直営店メニュー

度が終了すれば、採算はとれない。高浜町のバイオマス計画は無理があり、廃棄物を購入してまでする話ではない。

日生漁協では、牡蠣の養殖が盛んである。売り上げ14億のほどを牡蠣が占めている。日生でも漁獲高は減少しており、牡蠣の養殖に頼っている。その牡蠣を都会から求めてこられるので、現地にて焼いて食べて頂いている。漁協の方は6次化への取り組みは、小さく始めた方がよいとのことであった。販売は奥さんが担当し、世帯収入を上げてこられた。

予算決算常任委員会

委員長 山本 富夫

【付託案件】

●議案第44号

■平成26年度高浜町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億5277万9千円を追加し、歳入歳出総額は99億8954万9千円となった。各委員からの審議内容は、補正予算全般についての内容と新規事業4件を主体に進められた。

【審議内容】

◆総務費

財産管理費211万5千円の中町住宅スロープ設置工事について。

NPO法人の方々が入居され、1ヶ月に4回程度障害者の方が利用。

人材育成事業補助金300万円について。

原子力以外の関係は半々ぐらいである。

地域おこし協力隊報償費192万円について。

総務省の事業であり、3年間と

いう期限の中で行っていく事業である。他に緑のふるさと協力隊という事業もあり、昨年と本年度に青葉山麓事業で採用している。

地域振興事業1309万7千円の事業内容と、青少年旅行村という名が無くならないのか。

名称、運営管理の問題等々については、今後教育委員会と詰める。将来の運営計画についてはじっくり山麓からあがってきたマスタープランの精査をし、判断を加えて対応していきたい。

この事業の一番重要ところが薬草の活用で、青葉山の保全が始まり、最終的には薬草を活用した産業振興というところである。

◆民生費

水難救護事業、164万6千円ブルーフラッグを申請されるエリアは。

現実的には、和田海水浴場から取得をしていく。

◆農林水産業費

園芸産地育成強化事業86万7千円の事業内容について。

野菜の価格が標準的な価格まで補償する事業で、ミディートマトを出荷に対し、当初全体2トンド

ったのが62トンに出荷が増加した分の保障である。

◆消防費

防災対策事業1257万8千円についてと、アルミリアカーの使用目的について。

主な使用目的は重い灯光器や発電機を倉庫から現場まで運ぶために購入するものである。灯光器や発電機と同数を4年間かけて整備する。

◆教育費

和田公民館建設事業323万1千円について。

現在の公民館は、650㎡で計画は1000㎡で4割増である。和田公民館は、今後の保健福祉センターの取り扱いを含め、新庁



現在の和田公民館

舎での関係課の設置を確認の上で建設には慎重な意見も出た。

教職員住宅管理事業33万5千円教育委員会で使用していたエアコンの取替えでリユースし極力経費を抑えている。

小学校管理事業、緊急地震速報装置35万円は、どのようなシステムか。自動的に音声が入館に流れるというシステムである。

【質疑総括】

以上の委員会審議がなされ審議終了後、討論として新庁舎の建設に反対であるが、耐震性貯水槽設置工事1億200万円貯水槽の建設に賛成したいということを一言申し添えて賛成する。

和田の公民館が現在老朽化しているため建替えは必要でありこの予算については賛成とする。

以上の討論を経て、慎重審議の結果、全員賛成で採択。



厚生文教常任委員会

委員長 上尾 徳郎

●請願第3号

●陳情第13号

両案件は「継続審査」で同類の内容であり一括審査をした。

要支援者を予防給付から外し地域に任せば介護の質は低下し地域格差が生じる現在国会で審議中であり提出すべきである。

新制度の中で地域の実情に合った包括支援の充実に取り組むべきである。等の討議があった。

●承認第4号

軽減枠が広がるのは良いが課税限度額が引き上がり負担が増える事には反対との討論があった。

●議案第48号

【請負金額】10億4544万円

【請負業者】清水建設(株)・山惣ホーム(株)・弥栄電設工業(株)・高浜町文化会館及び高浜町中央図書館施設増築改修工事特定建設工事共同企業体

一社のみの入札参加と聞くが。

高額の入札が不調の多い中では

あるが、入札参加資格の要件を満たした地元業者との共同企業体での参加である。

共同企業体を組むにあたり、町の指導はあるのか。

事業者同士の事であり町は全く関与しない。

●議案第49号

【請負金額】1億3408万7400円

【請負業者】(株)平川

工事箇所に係る施設の利用は。

テニスコート・ソフトボールに支障のない様に工事を進めるが、ソフト側のフェンス改修もあり今年のシーズン中は使用できないが野球場には支障はない。

●議案第50号

【請負金額】1億1016万円

【請負業者】クボタ環境サービス(株) 大阪支店

点検・修繕其々の総額は。

点検が約2900万円、修繕が約8800万円の設計価格。

随意契約だがどんな会社か。

建設当初より設計・建設・点検

整備と社名の変更はあるが同じ会社。

現場視察



審査終了後、25年度完了した教育施設工事現場と仮設施設の現場確認と説明を受けた。

①青郷保育所

木質の温かみのある床や壁また開放感のある通路・部屋・トイレなどの利用説明を受けた。

②仮設図書館

西地区体育館・仮設青郷保育所を再利用し、開館に向けて準備中の閲覧コーナー・受付・事務所・体育館の蔵書コーナーなどの説明を受けた。



②仮設図書館



①青郷保育所

③中央体育施設擁壁改修工事現場

湯谷会館前擁壁工事に伴ない新設された進入路と改修擁壁や工事完成で出来た広い敷地等確認し駐車場として当面利用するなどの説明を受けた。

④和田小学校プール

プール開きをまじかに控え準備の整った施設の詳細説明を受けた。



③中央体育施設擁壁改修工事現場



④和田小学校プール

地域医療・福祉問題調査特別委員会

委員長 廣瀬とし子

独立行政法人地域機能推進機構

及び若狭高浜病院について

高浜病院3名・保健課長・課長補佐・出席のもと、説明を受け、その後意見交換を行なった。

地域の医師不足などを背景に、地域において医療機能の確保が困難になっている状況が深刻化しており、社会保険病院の地域医療を担う機能の維持が求められている。社会保険病院等の運営を行う、独立行政法人地域医療機能推進機構へ改組する。略称(ジェイコー)が果たすべき使命は、(ミッション)

●地域に必要な医療を行う。

●地域包括ケアシステムの確立。

●総合診療医の育成。

●ITを活用し医療と介護の質と効率の向上。

これからは、高齢化が進むと多くの人が多数の疾患を持ち、しかも身体的な疾患から認知症まで幅広い疾患をもっている患者さんが増える。幅広い診療が出来る総合診療医の育成が必要である。若狭高浜病院の現状は、人材不足(医師、

看護師、薬剤師、介護師)である。いろいろな問題があるが、これを克服しジェイコーグループとして高い理想をもって地域医療に貢献したいと考えている。

若狭高浜病院附属介護老人保健施設の愛称は設けない予定で、サングレー高浜は使用できない。老人施設は、病状が安定していて入院治療の必要がないお年寄りに、リハビリや看護・介護を行い、自立した家庭生活が送れるようにすることを目的とした施設である。特養に比べ、看護配置も多く、医師が常駐し、薬剤師、理学療法士または作業療法士も配置されている。

意見交換の中で経営の部分について、

- ・病院個々で収支されているのか。
- ・税金(法人税)はどうなっているか。
- ・寄附講座の高浜病院に対するメリットは？

診療面でメリットはある。寄附講座がなくならないか、医師、研修医が減ることが不安である。



鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

平成26年度鳥獣害対策体制が担当課から示され、詳細説明と意見交換が行われた。

新たな捕獲体制では、高浜町の4地区に各1名の実施隊員(経験を持った4名)を任命し檻の設置、捕獲や防除技術の指導、各種対策の啓発・普及などを捕獲従事者(24名)や捕獲補助員(58名)と共に捕獲実施を行う計画の説明が行われた。この捕獲補助員とは、狩猟免許を持たなくても講習会を受講し登録することで有害捕獲の補助的作業が出来る事で体制の強化につながるかとされている。

また今後各種団体で構成する協議会を設置しその中で恒久柵設置などの検討を行う。

平成25年度から新たに追加されている追い払い活動で、モンキードック・ヤギ放牧事業の経過説明が行われた。

モンキードックは訓練所に預け、飼い主が犬をコントロールして、号令に絶対的に従う服従訓練が終了し、現在地元に戻り現地訓練が行われている。今後の予定は

町が認定しその後モンキードックとして運用される事となる。

町内でもサルによる被害が多く報告されており、対策が急がれる中で今後モンキードックの活躍を期待される意見と、訓練による確実な安全性確保の強化を要望する意見が出された。

訓練犬による追い払いであることから、個体数は減少していかないと言う指摘が以前からあり、新たに高野区にサル檻を設置、地元の捕獲従事者に協力を依頼してカメラを設置し動向を調査している。徐々に捕獲頭数が増えてきていることや、檻に対して改良点がビデオで紹介された。

ヤギ放牧事業では、ヤギの成長に伴い除草の効果は出てきている。

イノシシ被害については放牧地周辺には近づかないが、放牧地から一定の距離を置くとまだ被害がある事から今年度より放牧地周辺に捕獲檻を設置して行く予定が報告された。



原子力対策特別委員会

委員長 大塚ひとみ

防災安全課、平田課長より高浜町原子力災害住民避難計画について聞き取った。

【質疑応答】

自主防災組織は今何件あるか。

確定区は9行政区、今年度中に16～7区が進められている。

民生委員が要支援者マップを作っているが、防災課だけでなく福祉課、民生委員等と連携をとって計画すべき。地域に出て避難場所を明確に説明、訓練等実践が必要。

福祉課等とのすり合わせが出来ていないが、今後していきたい。

PAZの方の避難ケースで大津波・地震災害時では、車での避難が難しいと思うが、PAZ外への徒歩での避難、屋内待機はないのか。

複合災害を念頭において計画しているが、初期避難後の行動は徒歩を含めた計画をしている。

【意見・要望】

- ・ 関屋あたりに高速道路への道を新設しては。
- ・ 燃料(ガソリン)の早めの給油を啓蒙しては。
- ・ シェルターが1～2箇所でもいいの

か検討してほしい。

新規制基準適合性審査の対応状況他について、エネルギー基本計画の中の原子力の位置付け、政策の方向性についてまた、福井地裁大飯3、4号機運転差止訴訟について聞き取った。

【質疑応答】

使用済み燃料の保管は、ドライキャスクとが進んでいるのか。

使用済み燃料のプールはドライキャスクを含め方法を検討している段階。

今、川内原発優先で審査がされているが、高浜の審査はいつ頃か。目途は。

明確には言えないが、川内の審査書は2～3ヵ月後で認可だと思ふ。出来るだけ早く再稼働したい。

【付託案件の審議】

●請願第4号

大飯原発運転差止止め判決は、現在係争中で最終の決定ではない。経済よりも人格権を優先というのは、経済は人の営みそのもの、それを否定するものは認められない。最高裁の司法の判断がどうなるかを注意深く見ていきたい。この判断が福島事故以来対策される途中にされたことは納得できない。等の反対意見が出た。

若狭消防組合議会

組合議員 勝本 繁昭

◇日程／2月12日～3月26日

若狭消防組合議会議場

第165回

若狭消防組合議会定例会

北原武道氏が原子力防災について一般質問され、消防活動の業務について質問した。

【審議事項】

●議案第1号

平成26年度若狭消防組合一般会計予算

歳入歳出それぞれ15億756万4千円が上程された。

●議案第2号

若狭消防組合消防長および消防署長の資格を定める条例の制定

●議案第3号

若狭消防組合火災予防条例の一部改正

●議案第4号

若狭消防組合手数料の一部改正

【全員賛成で可決】

嶺南広域行政組合議会

議員 栗野 明雄

◇日程／3月27日

◇場所／敦賀市立図書館

第1回

嶺南広域行政組合議会定例会

【審議事項】

●議案第1号

嶺南広域行政組合監査委員の選任
美浜町の藤本悟議員が選任された。

●議案第2号

嶺南広域行政組合一般会計補正予算(第1号)

主なものは、嶺南地域振興促進基金積立金852万9千円。

●議案第3号

平成26年度嶺南広域行政組合一般会計予算

歳入歳出とも10億4809万8千円となった。主なものは、若狭路産品販売力強化支援事業・若狭路連携イベント支援事業補助金など。

小浜市の能登恵子議員の一般質問があり、そのあと「舞鶴若狭自動車道の4車線化に関する意見書」が出された。

【全員賛成で可決】

議会をチェックするのはあなたです



5月に開催の報告会については、事前に区長会をはじめ、町内各種団体に対し参加要請を行いました。

町内4箇所で開催し、200人近い過去最大の参加を得、67件もの質問・意見・要望・批判を頂きました。有難うございました。

催までに検討する。

頂いた67件について、議会として真摯に受け止め、責任ある対応をする事をお約束し、今号「議会だより」では、紙面の制約もあり各会場数件のみ記載し、残りの案件は次回報告会にて回答いたします。

■ 共通課題

問 報告会への動員要請をした理由は何か。出前報告会のネーミングは、懇談会的なものに変えてはどうか。

回答 毎回参加者が少なく、できるだけ多くの町民の皆様の意見を頂き議会活動にいかして行きたいとの思いからである。ネーミングについては、意見を参考に次回開

問 27号線青葉トンネルの改修・国道拡幅・歩道整備・原電の町に相応しい国道照明の改善に向け努力を。

回答 青葉トンネル改修・拡幅は、福井県と京都府が同一歩調で国に対応する必要がある、理事者と協議し、今後より強く舞鶴市・京都府に対応する。国道照明の増設には条件が厳しく、町独自で必要に応じ町有灯を検討する。歩道整備は必要度の高い区間について要望を強める。

問 大規模ハウス「和郷」誘致に関連し、①何故またトマトなのか。②農

業生産法人として町は承認しているのか。③営業計画は。④雇用数は。⑤公費補助は。⑥採算性は。⑦将来の撤退の可能性は。⑧公有水面埋立費用はどの程度か。

回答 ①トマト生産だけでなく、植物工場は結球レタス・ベビーリーフ等、カット野菜工場は野菜全般を扱う。②26年5月町認定済み。③営業計画は現時点未定。④130人雇用見込み。⑤公費補助率8割(町補助1割)。⑥事業採算は企業努力。⑦安易な撤退は無い。⑧埋立34億強。

■ 高浜地区

問 高浜駅前ロータリーに高速バス乗り入れ出来るように出来ないのか。

回答 難しいが、大型バスの乗り入れの検討も含めた改良工事を予定しているので、併せて高浜駅までの延伸の協議に努力していく。

問 海のルールブックを作るだけでなく、特に城山公園でのキャンプやバーベキュー等の取り締まり・水上バイクの規制・冬場のサーファー等に対する指導を厳重にすべき。

回答 取り締まる為の「海を守る条

例」を3月議会で決めたので、警察・海上保安庁・水難救助員会等関係者の連携を密にして、看板での周知や指導・取締りを強化するが、マリンスポーツの普及も課題であり、棲み分けは今後検討すべき。

問 議員は、行政と町民の橋渡しの役割と、チェックばかりでなく政策提起もしっかり行ふべき。

回答 指摘を受け、肝に銘じ議会活動を真摯に実践していく。

■ 内浦地区

問 不燃物処分場は、平成35年までの計画と聞くが、その後の計画と、上流と下流の水質検査の結果は。

回答 将来の衛生施設については、若狭地域広域での協議を行っている。下流域での水質調査結果は、各公民館で閲覧出来る、処分場上流域での調査はしていない。数値は全て国の基準値を下まわっている。

問 電源立地対策交付金については、おおい町では立地の大島地区を重点に事業推進が図られている。立地は内浦地区にあり、おおい町のように

問 内浦地区重点に予算配分すべきでないのか。

回答 内浦地区に特化した原子力関連交付金(電源交付金・サイクル共生交付金)の活用については、近年の主なものでは下水道の整備や内浦公民館の建設があり、計画中の柿ヶ渡線の整備も交付金の活用を考えている。要望は議会も留意し対応する。

問 内浦地区の事業内容全般についてどのようなものか。

回答 漁協音海支所事務所棟新築工事・上瀬(日引)防波堤改修工事・宮尾の復旧治山工事最終年度・神野、神野浦、鎌倉の地滑り対策・26年度下地区に着手。旧日引小学校利用の「ふれあい広場事業」等。

青郷地区

問 バイオマス発電は、失敗する確立が高いので、中止すべき。

回答 協議会を立ち上げ事業の可能性を検討中であり、特に採算性・燃料安定調達等を含め、慎重に対応する。

問 原子力防災訓練の計画は。

回答 8月31日実施予定であり今後県当局と調整しつつ、町民の皆様との理解と協力を得られる計画とする。

問 中央体育館の立替については、応援・見学が可能となるものとすべき。

回答 見学席の要望については、前向きに検討する。

問 青葉山麓の開発については、自然環境に配慮して慎重な対応をしてほしい。また、青葉山麓研究所の活動について補助金が付かなくなれば終る事にならないよう、長期ビジョンで対応して欲しい。

回答 環境保全を最優先し、地場産業の育成に繋がる様、基盤整備の側面を重視しつつ事業が軌道に乗るよう数年間を基本に支援。その後民間活力を発揮出来るよう期待している。

問 関屋川の浚渫を急ぎ、台風や豪雨の被害が起きない様努力して。

回答 県工事で行ったが、昨年の台風で被害にあったので、議会と

しても再度要望していく。

問 商工会・観光協会・町づくり団体等、役場が中心になって各種団体を連携させることが必要でないのか。

回答 これまでも各種団体の連携強化に努めてきたが、本年度は舞若道の全線開通や、各種事業の計画作りなど、高浜の魅力をより発信していけるよう、強固な連携と情報共有を図れるよう議会も努力する。

和田地区

問 雇用の場が少ない。働く場を選べる環境が欲しい。

回答 雇用を生み出す新たな産業の創出は、当町にとって重要な課題であり、「和郷」の園芸事業は新たな産業創出の起爆剤としていきたいが、その他の1次産業の6次化・産業団地の造成による企業誘致等、様々な取り組みを戦略的に実施出来るよう、議会としても政策提起に努める。

問 舞若道が開通するが、素どおりにならないよう、客を呼び込むためのものが足りないのか。

回答 町も観光にはお金もつぎ込んできたが、現状満足のいく成果に結びついていない。今後「魅力ある観光振興」にむけ、確実な政策実施で「お客」を呼び込む為、全ての関係者の必死の努力が必要であると考えている。

問 安土埋立地の新たな出入り口の取り付け道路の計画内容と、駅前道路浸水対策は検討されているか。

回答 県道整備として埋立地からの新設道路と現道路の安全な接続形状の協議中、27年度完成予定。海側通路は「海岸管理用道路」で歩道としての利用可能。浸水対策は地元関係者の理解・協力を得て解決を検討するが、議会も全力で頑張る。

問 オフサイトセンターの機能と、ヨウ素剤の配布の方法は。

回答 センターは原子力災害時、国・県・市町・事業者等関係機関が活動する、防災拠点施設。ヨウ素剤は内浦公民館・旧音海小中校・青郷公民館・保健福祉センターに全住民分措置している。配布・服用方法は、県と協議中。

議会の傍聴にお越しください

6月定例会は高浜おやジー会・高浜町商工会女性部の皆さんが傍聴に来られました。



町議会を傍聴して

議会を傍聴させて頂き、議員の皆様、町長をはじめ町職員の皆さんが諸問題改善や町発展の提案等に真摯に取り組まれていることに有難く感じました。今後共町民の為の町政を忘れずに又保身に走ることなく取り組んで頂きたいと思います。

高浜おやジー会
三田 幸男



高浜町商工会女性部部員6名で傍聴させていただきました。青葉山麓に対する町政の取組姿勢の質問は商工会で京都大学大学院人間環境学研究教授瀬戸口浩彰氏の「青葉山の植物と付き合い方・活かし方」の講演の直後で興味深くお聞きいたしました。

これからの高浜の観光の可能性を考えますと、とても大切な青葉山です。しっかり取り組んでいただきたいと思います。

商工会女性部部长
伊藤 嘉子

議会の傍聴は
事前予約は不要です。
当日お越しただくだけで
傍聴できます。次回定例会は9月
です。お待ちしております。

高浜町議会事務局
☎(72)7710



編集後記

東京では、電が降るなど異常気象が報道されています。台風でも特別警報が出され、自然界の変化を感じます。それに引き替え、高浜町の6月議会は、嵐の前の静けさといった感があり、淡々と進んだように思います。

5月に、広報委員会の組織替えがあり、メンバーが一新しました。先日、広報の研修会に参加し、より見やすい広報になるように研修を受けてまいりました。

議会活動・議員各位の奮闘ぶりを皆様のお手元に届けられますように、メンバー一同努力しますので、御愛読下さいますようお願いを致します。

文責 栗野 明雄

広報特別委員会

委員長	栗野 明雄
副委員長	的場 輝夫
委員	山本 富夫
	横田 則孝
	廣瀬とし子
	上尾 徳郎